



SEE MORE JESUS • WANTTOSEEMORE.COM

聖書は善と悪について何と言っているか?— リビング・イット・アウト・ストロングナンバー付きKJV聖句

それを生きる・神との歩み— 這う、歩く、走る、走り終える

善と悪— 聖書的基础教理

開会の言葉

善悪はただ知るべきことだけではない。それは歩むべき道である。子供は一日で歩けるようにはならない。まず手と膝で這い、それから父が両腕を取って歩き方を教え、それから一人で歩き、それから成長して走るようになる。そして良く走る者は競走を走り、その競走には終わりがあり、その終わりには倒れるか、走り終えるかがある。古い言語では、二つの小さな言葉が全体を担っている。towb (H2896、良い) とra (H7451、悪い) である。新しい言語では四つある。agathos (G18、良い) とkalos (G2570、良い)、kakos (G2556、悪い) とponeros (G4190、悪い—意志の込もった悪) である。この研究は、人の歩みの全体を通して善悪を追う。すなわち、感覚がいかにしてそれらを見分けることを最初に学ぶか、人がいかにして日々良いことの中を歩み続けるか、その歩みがいかにして競走となり、さらには本物の悪しき者に対する戦いとなるか、そしてその歩みがいかにして終わるか—墓においてではなく、命の木において、開かれて立ち、もはや呪いのないところで終わるのである。それを探り出さない。

本研究が答える三つの問い:

1. 人はどのようにして初めて善と悪を見分けることを学ぶのか、その判断力はどこから始まるのか。
2. その識別力を身につけたなら、人はそれをどのように用いるべきか—それは日々どのように実践されるのか。
3. 歩みはどのようにして悪との競走また戦いとなるのか、そしてそれはどのように終わるのか。

ギリシャ語キーワード

“良い” — **G18 agathos** — その性質と働きにおいて良いもの、有益なもの
神のほかに善い者はひとりもない。人が示す善はすでに与えられた良い蓄えから出るものである

“良い” — **G2570 kalos** — 現された、見るにふさわしい
他の人々が見る良い行い、そして父を崇める

“悪” — **G2556 kakos** — 悪、悪い、無価値な、有害な

悪を表す普通の言葉——報いてはならず、善をもって悪に打ち勝つべきもの

“悪” — **G4190 poneros** — 悪、邪悪、有害な — 意志を伴う悪
悪い者、悪い目、悪い倉

“圧倒する” — **G3528 nikao** — 勝利を得ること、勝つこと
悪に善をもって勝つ——歩みはここに至る。勝利を得る者には、命の木が与えられる。

“木” — **G3586 xylon** — 木材、木、杖
彼が私たちの罪を負われた木と、いのちの木は、同じ言葉である

“試す” — **G1381 dokimazo** — 火によって金属が精錬されるように、試す、試みる
善悪をわきまえる訓練を受けた感覚は、すべてをしっかりと保持する前に、まずすべてを吟味する

ヘブライ語キーワード

“良い” — **H2896 towb** — 良い、快い、心地よい、快適な
神が造られたすべてのものについて下された、悪がまだ名を持つ前に語られた、神ご自身の評決

“悪” — **H7451 ra** — 悪、悪しきもの、災い、邪悪
禁じられた木において最初に名指された言葉 — 離れるべき悪

“知る” — **H3045 yada** — 知る、認識する、見分ける
善悪を知ることは、善を選ぶこととは同じではない

“選ぶ” — **H977 bachar** — 選ぶこと、選択すること
あなたの前に生と善が置かれている——それゆえいのちを選べ

“拒む” — **H3988 ma'as** — 拒む、拒絶する、蔑む
善を選び、悪を拒むことを知る子

“退く” — **H5493 sur** — 逸れる、離れ去る
悪を離れ、善を行う——主を恐れることから始まる

“耳を傾ける” — **H8085 shama** — 聞く、聴く、従う
聞く者は安らかに住み、悪への恐れなく静かにいる

“考案する” — **H2803 chashab** — 考える、企てる、計画する
ヨセフの物語の両側にある同じ言葉——害を加えるために企てられたことを、神は良きことのために企てられた

“恐れ” — **H3372 yare** — 畏れる、恐れる;敬う
悪から離れ去る主への畏れであり、神から隠れる畏れではない

I. 探し方 — 見つけ方

(私の個人的な思い——どの歩みも低いところから始まるが、これはまさに書物の一番最初から始まっている。悪がまだ名づけられる前に、良いものはすでに語られている——一章の中で七度も。識別は悪を味わうことから始まるのではなく、神がすでに示してくださった良いものを味わうことから始まる。低く始め、小さく始め、そして始めよ。)

A. 創世記 1:4 神はその光を見て、良しとされた。神はその光とやみとを分けられた。

原語キー / **STRONG' S:** ■ H2896 towb

神はその光を見て、良しとされた→神はその光とやみとを分けられた。

B. 創世記 1:31 神が造ったすべての物を見られたところ、それは、はなはだ良かった。夕となり、また朝となった。第六日である。

原語キー / **STRONG' S:** ■ H2896 towb

神が造られたすべての物を見られた→見よ、それは非常に良かった。

(私の個人的な思い——善を見出すことはここから始まる。従うべき規則からではなく、ご自身が造られたものに対するある方ご自身の評決から始まるのである。人が善を選ぶよう告げられる前に、神はすでにそれを名づけ、しかも良いものとして名づけておられたのである。)

C. 詩篇 34:8 主の恵みふかきことを味わい知れ、主に寄り頼む人はさいわいである。

原語キー / **STRONG' S:** ■ H2896 towb

主の恵みふかきことを味わい知れ→主に寄り頼む人はさいわいである。

D. 詩篇 119:68 あなたは善にして善を行われます。あなたの定めをわたしに教えてください。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H2896 towb ・ ■ H3190 yatab

あなたは善にして善を行いたもう→われにあなたの律法を教えたまえ。

(私自身の思い——善とは、神が語られる言葉であるだけでなく、神ご自身であり、神がなさることでもある。主が善であることを味わい知ることは、善あるいは悪と呼ばれる他のすべてのものを判断する新しい道の始まりである。)

E. 創世記 3:22 主なる神は言われた、「見よ、人はわれわれのひとりのようになり、善悪を知るものとなった。彼は手を伸べ、命の木からも取って食べ、永久に生きるかも知れない」。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3045 yada

人はわれわれのひとりのようになり、善悪を知るようになった--彼が命の木からも取って食べることはないように。

(これは私個人の考えである——なぜこの識別力を、単に持っているものとしてではなく、今、学び取らねばならないのかという理由がここにある。人は神から離れ、自らの手で善悪の知識に手を伸ばした。そして彼が得た知識は、彼が担いきれるものを超えていた。その日から、善悪を正しく見分けることは、当然のものとしてではなく、再び見出されねばならないものとなったのである。)

F. 申命記 30:19 わたしは、きょう、天と地を呼んであなたがたに対する証人とする。わたしは命と死および祝福とのろいをあなたの前に置いた。あなたは命を選ばなければならない。そうすればあなたとあなたの子孫は生きながらえることができるであろう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H977 bachar

命と死をあなたの前に置いた→それゆえ、命を選びなさい。

G. 列王紀上 3:9 それゆえ、聞きわけの心をしもべに与えて、あなたの民をさばかせ、わたしに善悪をわかまえることを得させてください。だれが、あなたのこの大いなる民をさばくことができますよう」。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H995 bin ・ ■ H2896 towb ・ ■ H7451 ra

悟りの心→善と悪を見分けるため。

(私自身の思い——ソロモンは、すでにこの識別力を持っていると主張したのではなく、神にそれを求めたのである。善と悪の違いを見出すことは、誰にとっても同じところから始まる。すなわち、自分自身の判断への自信からではなく、願い求めることから始まるのである。)

H. イザヤ書 7:15 その子が悪を捨て、善を選ぶことを知るところになって、凝乳と、蜂蜜とを食べる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H3045 yada ・ ■ H3988 ma'as ・ ■ H7451 ra ・ ■ H977 bachar ・ ■ H2896 towb

悪を退け、善を選ぶことを知る。

I. ヘブル人への手紙 5:12 あなたがたは、久しい以前からすでに教師となっているはずなのに、もう一度神の言の初歩を、人から手ほどきしてもらわねばならない始末である。あなたがたは堅い食物ではなく、乳を必要としている。(13) すべて乳を飲んでいる者は、幼な子なのだから、義の言葉を味わうことができない。

あなたがたは堅い食物ではなく、乳を必要としている→乳を飲む者はみな、義の言に通じていない、幼な子だからである。

(私の個人的な思いです。これは、生きているすべての人にとっての出発点です。すなわち、乳を飲む幼子であり、善悪を見分けることに未熟であるということです。そのこと自体には恥はありません。恥となるのは、そこにとどまり続けることです。識別力は見出されるものですが、それは一度に見出されるものではありません。)

J. 箴言 2:3 しかも、もし知識を呼び求め、悟りを得ようと、あなたの声をあげ、(4) 銀を求めるように、これを求め、かくれた宝を尋ねるように、これを尋ねるならば、(5) あなたは、主を恐れることを悟り、神を知ることができるようになる。

知識を叫び求め+隠された宝を捜すように彼女を探し求めよ→神を知ることを見出す。

II. 歩む——それを得たなら、それをどう用いるか

(私の個人的な思い——子は今、自分の足で立ち、歩むということは、一度だけでなく、毎日その選択を実践することを意味している。旧約聖書はこれを、悪を退け、善を選ぶことと呼んでいる。それも、ありふれた一日の小さな決断の中で、繰り返し繰り返し行われることなのである。同じ一対の言葉が何度も繰り返されているのに注目せよ。悪を離れ、善を行え。)

A. 詩篇 34:14 悪を離れて善をおこない、やわらぎを求めて、これを努めよ。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H5493 sur ・ ■ H7451 ra ・ ■ H2896 towb

悪を離れ善を行え→平和を求め、それを追い求めよ。

B. アモス書 5:14 善を求めよ、悪を求めるな。そうすればあなたがたは生きることができる。またあなたがたが言うように、万軍の神、主はあなたがたと共におられる。(15) 悪を憎み、善を愛し、門で公義を立てよ。万軍の神、主は、あるいはヨセフの残りの者をあわれまれるであろう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H1875 darash ・ ■ H2896 towb ・ ■ H7451 ra ・ ■ H2421 chayah ・ ■ H8130 sane ・ ■ H157 ahab

善を求め、悪を求めるな。悪を憎み、善を愛せ。

C. 箴言 3:7 自分を見て賢いと思っ**て**はならない、主を恐れて、悪を離れよ。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H2450 chakam ・ ■ H3372 yare ・ ■ H5493 sur ・ ■ H7451 ra

自分を見て賢いと思**っ**てはならない→主を恐れて+悪を離れよ。

D. 箴言 8:13 主を恐れるとは悪を憎むことである。わたしは高ぶりと、おごりと、悪しき道と、偽りの言葉とを憎む。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H8130 sane ・ ■ H7451 ra

主を恐れることは悪を憎むことである。

(私自身の思い——善の中を歩むということは、一度の決断ではない。それは、日ごとに、日常のありふれた場所において、同じものを憎み続ける主への恐れである。すなわち、驕り、傲慢な生き方、高ぶる口を憎むこと。歩みには何ら劇的なところはない。それは、保たれ続ける方向である。)

E. ヨブ記 28:28 そして人に言われた、『見よ、主を恐れることは知恵である、悪を離れることは悟りである』と」。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H5493 sur ・ ■ H7451 ra ・ ■ H998 binah

主を恐れることは知恵であり、悪を離れることは知性である。

F. イザヤ書 1:16 あなたがたは身を洗って、清くなり、わたしの目の前からあなたがたの悪い行いを除き、悪を行うことをやめ、(17) 善を行うことをなさい、公平を求め、しえたげる者を戒め、みなしごを正しく守り、寡婦の訴えを弁護せよ。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H7451 ra ・ ■ H2308 chadal ・ ■ H3925 lamad ・ ■ H3190 yatab

自らを洗い、自らを清くせよ→悪を行うことをやめ、善を行うことを学べ。

(私個人の考え——順序に注目してほしい。まず洗われ、それから止め、そして学ぶのである。歩むということは、悪を止めることだけではない。善き習慣という新しい組みを学ぶことでもある——虐げられた者のための公正、みなしごとやもめへの配慮である。歩むことには手と足があり、清い良心だけではないのである。)

G. 箴言 17:13 悪をもて善に報いる者は、悪がその家を離れることがない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H7451 ra ・ ■ H2896 towb

悪をもて善に報いる者は→悪がその家を離れることがない。

H. テサロニケ人への第一の手紙 5:21 すべてのものを識別して、良いものを守り、(22) あらゆる種類の悪から遠ざかりなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1381 dokimazo ・ ■ G2722 katecho ・ ■ G2570 kalos ・ ■ G567 apecho ・ ■ G1491 eidos ・ ■ G4190 poneros

すべてのものを識別して→良いものを守り+あらゆる種類の悪から遠ざかりなさい。

(私の個人的な考え——「試す」はドキマゾー(G1381、試す、証明する)であり、金属が火によって試されるように何かを試すことである。善の中を歩むことは日々の試みであって、一度限りの決断ではない。すなわち、それを試し、それを堅く保ち、悪の見せかけにすぎないものからさえも遠ざかることである。)

I. マタイによる福音書 5:16 そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かし、そして、人々があなたがたのよいおこないを見て、天にいますあなたがたの父をあがめるようにしなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2570 kalos ・ ■ G2041 ergon

あなたの光をそのように輝かせなさい——人々があなたの良い行いを見て、あなたの父をあがめるために。

J. ガラテヤ人への手紙 6:9 わたしたちは、善を行うことに、うみ疲れてはならない。たゆまないでいると、時が来れば刈り取るようになる。(10) だから、機会のあるごとに、だれに対しても、とくに信仰の仲間に対して、善を行おうではないか。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2570 kalos ・ ■ G18 agathos

善を行うことに、うみ疲れてはならない。→機会があるうちに、すべての人に対して善を行おう。

K. ローマ人への手紙 2:7 すなわち、一方では、耐え忍んで善を行って、光栄とほまれと朽ちぬものを求める人に、永遠のいのちが与えられ、(8) 他方では、党派心をいだき、真理に従わないで不義に従う

人に、怒りと激しい憤りとが加えられる。(9) 悪を行うすべての人には、ユダヤ人をはじめギリシヤ人にも、患難と苦悩とが与えられ、(10) 善を行うすべての人には、ユダヤ人をはじめギリシヤ人にも、光栄とほまれと平安とが与えられる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G18 agathos ・ ■ G2556 kakos ・ ■ G18 agathos

善を行うことにおける忍耐強い継続 → 善を行うすべての人には、栄光、誉れ、そして平安。

L. マタイによる福音書 19:17 イエスは言われた、「なぜよい事についてわたしに尋ねるのか。よいかたはただひとりだけである。もし命に入りたいと思うなら、いましめを守りなさい」。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G18 agathos

善なる者はただひとり、すなわち神のほかにはいない。

(私自身の思い——善に歩むことは、その人自身が善の源となったという考えに転じることは決してない。善なる者は誰もいない、ただ神おひとりのみである。人が歩むもの、それはまず別のひと方が与えられたものである。)

M. ルカによる福音書 6:45 善人は良い心の倉から良い物を取り出し、悪人は悪い倉から悪い物を取り出す。心からあふれ出ることを、口が語るものである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G18 agathos ・ ■ G2344 thesauros ・ ■ G4190 poneros

彼の心の良き倉より → 善きものを、+心の満ち溢れるところより彼の口は語る。

N. ローマ人への手紙 7:19 すなわち、わたしの欲している善はしないで、欲していない悪は、これを行っている。(20) もし、欲しないことをしているとすれば、それをしているのは、もはやわたしではなく、わたしの内に宿っている罪である。(21) そこで、善をしようと欲しているわたしに、悪がはいり込んでいるという法則があるのを見る。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G18 agathos ・ ■ G2556 kakos ・ ■ G2570 kalos ・ ■ G2556 kakos

私が行おうと願う善は行わず + 私が善を行おうと願う時、悪が私と共に存在する。

(私自身の思い——たとえ心から善を行いたいと願う者であっても、歩みは必ずしも平坦ではありません。パウロも自分自身のうちにこの同じ葛藤があることを語っています。歩むということは、その戦いを否定することではなく、それにもかかわらず善を選び続けることなのです。)

O. 箴言 1:33 しかし、わたしに聞き従う者は安らかに住まい、災に会う恐れもなく、安全である」。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H8085 shama ・ ■ H7451 ra

人に聞き従う者=安らかに住む+悪の恐れなく安心する。

(私の個人的な思い——これは、この道を歩み続ける者すべてに差し出されている約束である。すなわち、園において人間の心に最初に入り込んだあの恐れから解放された、安定し、安全で、静かな人生である。)

III. 競走を走る — 神の軍隊の兵士のようにそれに従う

(私個人の思い——今、その歩みは戦いとなる。悪はもはや一つの心の内なる選択にとどまらず、それに逆らう意志と名を持つ——悪しき者である。兵士は理念と戦うのではない。彼は敵と戦うのだ。あなたの全存在を神に明け渡し、善を武器とさせよ。)

A. ローマ人への手紙 6:13 また、あなたがたの肢体を不義の武器として罪にささげてはならない。むしろ、死人の中から生かされた者として、自分自身を神にささげ、自分の肢体を義の武器として神にささげるがよい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3936 paristemi

自分自身を神に献げ、あなたがたの肢体を義の器として神に献げなさい。

B. マタイによる福音書 6:13 わたしたちを試みに会わせないで、悪しき者からお救いください。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4506 rhuomai ・ ■ G4190 poneros

私たちを試みに遭わせず、悪より救い出してください。

C. ヨハネによる福音書 17:15 わたしがお願いするのは、彼らを世から取り去ることではなく、彼らを悪しき者から守って下さることです。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4190 poneros

世から取り去ることではなく、悪より守ることを —— 彼らを悪より守りたまえ。

D. ヨハネの第一の手紙 5:19 また、わたしたちは神から出た者であり、全世界は悪しき者の配下にあることを、知っている。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4190 poneros

我らは神より出でたる者なり + 全世界は悪しき者の中に置かる。

E. マタイによる福音書 13:19 だれでも御国の言を聞いて悟らないならば、悪い者がきて、その人の心にまかれたものを奪いとって行く。道ばたにまかれたものというのは、そういう人のことである。(20) 石地にまかれたものというのは、御言を聞くと、すぐに喜んで受ける人のことである。(21) その中に根がないので、しばらく続くだけであって、御言のために困難や迫害が起ってくると、すぐつまずいてしまう。(22) また、いばらの中にまかれたものとは、御言を聞くが、世の心づかいと富の惑わしとが御言をふさぐので、実を結ばなくなる人のことである。(23) また、良い地にまかれたものとは、御言を聞いて悟る人のことであって、そういう人が実を結び、百倍、あるいは六十倍、あるいは三十倍にもなるのである。(24) また、ほかの譬を彼らに示して言われた、「天国は、良い種を自分の畑にまいておいた人のようなものである。(25) 人々が眠っている間に敵がきて、麦の中に毒麦をまいて立ち去った。(26) 芽がはえて実を結ぶと、同時に毒麦もあらわれてきた。(27) 僕たちがきて、家の主人に言った、『ご主人様、畑におまきになったのは、良い種ではありませんでしたか。どうして毒麦がはえてきたのですか』。(28) 主人は言った、『それは敵のしわざだ』。すると僕たちが言った『では行って、それを抜き集めましょうか』。(29) 彼は言った、『いや、毒麦を集めようとして、麦も一緒に抜くかも知れない。(30) 収穫まで、両方とも育つままにしておけ。収穫の時になったら、刈る者に、まず毒麦を集めて束にして焼き、麦の方は集めて倉に入れてくれ、と言いつけよう』。(31) また、ほかの譬を彼らに示して言われた、「天国は、一粒のからし種のようなものである。ある人がそれをとって畑にまくと、(32) それはどんな種よりも小さいが、成長すると、野菜の中でいちばん大きくなり、空の鳥がきて、その枝に宿るほどの木になる」。(33) またほかの譬を彼らに語られた、「天国は、パン種のようなものである。女がそれを取って三斗の粉の中に混ぜると、全体がふくらんでくる」。(34) イエスはこれらのことをすべて、譬で群衆に語られた。譬によらないでは何事も彼らに語られなかった。(35) これは預言者によって言われたことが、成就するためである、「わたしは口を開いて譬を語り、世の初めから隠されていることを語り出そう」。(36) それからイエスは、群衆をあとに残して家にはいられた。すると弟子たちは、みもとにきて言った、「畑の毒麦の譬を説明してください」。(37) イエスは答えて言われた、「良い種をまく者は、人の子である。(38) 畑は世界である。良い種と言うのは御国の子たちで、毒麦は悪い者の子たちである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4190 poneros ・ ■ G2570 kalos ・ ■ G4190 poneros

それから悪しき者が来る → 良き種＝御国の子ら＋毒麦＝悪しき者の子ら。

(私の個人的な思い——この戦いにおける敵には名前と戦略がある。悪しき者、ポネーロス(G4190、悪、そこには意志が宿っている)である。彼はただ誘惑するだけではない。奪い取り、良い種が育つと同じ畑に偽物を蒔く。この競走を走るということは、自分自身の心以上のものに対して目を覚ましていることを意味する。)

F. マタイによる福音書 6:22 目はからだのあかりである。だから、あなたの目が澄んでおれば、全身も明らう。 (23) しかし、あなたの目が悪ければ、全身も暗いだろう。だから、もしあなたの内なる光が暗ければ、その暗さは、どんなであろう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G573 haplous ・ ■ G4190 poneros

あなたの目が一つ(単純)であれば→あなたの全身は光で満ちる+あなたの目が悪ければ→暗闇で満ちる。

G. マタイによる福音書 12:35 善人はよい倉から良い物を取り出し、悪人は悪い倉から悪い物を取り出す。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G18 agathos ・ ■ G2344 thesauros ・ ■ G4190 poneros

善良な人は良い倉から良い物を出し、悪い人は悪い倉から悪い物を出す。

H. エペソ人への手紙 6:16 その上に、信仰のたてを手に取りなさい。それをもって、悪しき者の放つ火の矢を消すことができるであろう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4190 poneros

信仰の盾 → 悪しき者の火矢をことごとく消す。

I. ヨハネの第一の手紙 2:14 子供たちよ。あなたがたに書きおくれたのは、あなたがたが父を知ったからである。父たちよ。あなたがたに書きおくれたのは、あなたがたが、初めからいますかたを知ったからである。若者たちよ。あなたがたに書きおくれたのは、あなたがたが強い者であり、神の言があなたがたに宿り、そして、あなたがたが悪しき者にうち勝ったからである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3528 nikao ・ ■ G4190 poneros

あなたがたは強く+神の言葉があなたがたのうちにとどまっている⇒あなたがたは悪しき者に勝てり。

(私の個人的な思い——盾と御言葉は、両側から同じ働きをする。盾は自分に投げつけられるものを防ぎ、内にとどまる御言葉こそが、そもそもその盾を持続続けるだけの強さを人に与えるのだ。この戦いにおいて、どちらも欠かすことはできない。)

J. 使徒行伝 10:38 神はナザレのイエスに聖霊と力とを注がれました。このイエスは、神が共におられるので、よい働きをしながら、また悪魔に押えつけられている人々をことごとくいやしながら、巡回されました。(39)わたしたちは、イエスがこうしてユダヤ人の地やエルサレムでなさったすべてのことの証人であります。人々はこのイエスを木にかけて殺したのです。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2109 euergeteo ・ ■ G2390 iaomai ・ ■ G2616 katadynasteuo ・ ■ G1228 diabolos ・ ■ G3586 xylon

悪魔に苦しめられている者たちをことごとく癒しながら、良きことを行いつつ巡り歩かれた → 彼らはこの方を殺し、木にかけた。

K. ルカによる福音書 23:41 お互は自分のやった事のむくいを受けているのだから、こうなったのは当然だ。しかし、このかたは何も悪いことをしたのではない」。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G824 atopos

我々は正当に罰を受けているが、この人は何も悪いことをしていない。

L. ペテロの第一の手紙 2:23 ののしられても、ののしりかえさず、苦しめられても、おびやかすことをせず、正しいさばきをするかたに、いっさいをゆだねておられた。

ののしられても、ののしり返さず → 正しくさばかれる方にお任せになった。

(私自身の思い——戦いが個人的なものになったとき、競走を走るとはこういうことだと思う。それは弱さゆえの沈黙ではなく、正しく裁かれる方に事柄すべてを意図的に委ねることである。それは降伏ではなく、兵士として戦うことなのだ。)

M. マタイによる福音書 5:44 しかし、わたしはあなたがたに言う。敵を愛し、迫害する者のために祈れ。(45) こうして、天にいますあなたがたの父の子となるためである。天の父は、悪い者の上にも良い者の上にも、太陽をのぼらせ、正しい者にも正しくない者にも、雨を降らして下さるからである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2570 kalos ・ ■ G4190 ponerous ・ ■ G18 agathos

あなたの敵を愛せよ、あなたを憎む者に善をなせ → 彼はその太陽を悪人にも善人にも昇らせられる。

N. ペテロの第一の手紙 3:9 悪をもって悪に報いず、悪口をもって悪口に報いず、かえって、祝福をもって報いなさい。あなたがたが召されたのは、祝福を受け継ぐためなのである。(10) 「いのちを愛し、さいわいな日々を過ごそうと願う人は、舌を制して悪を言わず、くちびるを閉じて偽りを語らず、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2556 kakos ・ ■ G18 agathos ・ ■ G2556 kakos

悪をもって悪に報いない → かえって祝福する → いのちを愛し、良き日を見る。

O. 創世記 50:20 あなたがたはわたしに対して悪をたくらんだが、神はそれを良きに変らせて、今日のように多くの民の命を救おうと計られました。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H2803 chashab ・ ■ H7451 ra ・ ■ H2803 chashab ・ ■ H2896 towb

あなたがたは私に対して悪を企てた + 神はそれを良いことのために計られた → 多くの民のいのちを救うために。

(私個人の考え——カシャブ(H2803、思う、企てる)は、この節の両側でまったく同じ言葉である。彼らが企てたこと、神が企てられたこと。この競走を良く走るということは、悪が決してあなたに投げつけられないという意味ではない。それは、ヨセフの兄弟たちが行動するのを許された同じ神が、その悪さえも多くの命を救うために変えてくださると信頼することを意味する。)

P. ローマ人への手紙 8:28 神は、神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さることを、わたしたちは知っている。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G18 agathos

神を愛する者たちには、万事が益となるように共に働く。

Q. ローマ人への手紙 12:21 悪に負けてはいけない。かえって、善をもって悪に勝ちなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3528 nikao ・ ■ G2556 kakos ・ ■ G3528 nikao ・ ■ G18 agathos

悪に負けてはいけない → 善をもって悪に勝ちなさい。

(私自身の考え——これはこの競走全体を要約するただ一つの命令であり、単に悪に耐え忍ぶだけでなく、それに打ち勝つことであり、その武器として挙げられているのが善である。ニカオー(G3528、打ち勝つ)は兵士の言葉であり、征服すること、戦場を制することを意味する。善はこの戦いにおいて受動的ではない。それは攻撃する。)

IV. ゴール——善と悪、そして御言葉は、とこしえに存る

(私自身の思い——すべての競走は終わる。しかし、この競走は墓で終わるのではなく、また裁きだけで終わるのでもない。それは開かれて立つ一本の木で終わり、そして消え去ることのない約束で終わる。勝利を得る者は、そこから食するのである。)

A. ヨハネの第一の手紙 3:8 罪を犯す者は、悪魔から出た者である。悪魔は初めから罪を犯しているからである。神の子が現れたのは、悪魔のわざを滅ぼしてしまうためである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3089 luō ・ ■ G1228 diabolos

神の子が現れたのは → 悪魔のわざを滅ぼしてしまうためである。

B. テモテへの第二の手紙 3:12 いったい、キリスト・イエスにあって信心深く生きようとする者は、みな、迫害を受ける。

いったい、キリスト・イエスにあって信心深く生きようとする者は → みな、迫害を受ける。

(私の個人的な思い——ゴールラインは、その競走が容易であったかのように装うことはない。なおも悪を行い得る世界の中で善を行うことには、真実の代価が伴う。この御言葉がここに置かれているのは、その戦いが何の犠牲も払わなかったかのように結末が読まれることのないためである。)

C. ペテロの第一の手紙 2:24 さらに、わたしたちが罪に死に、義に生きるために、十字架にかかって、わたしたちの罪をご自分の身に負われた。その傷によって、あなたがたは、いやされたのである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G399 anaphero ・ ■ G3586 xylon

十字架にかかって、わたしたちの罪をご自分の身に負われた → 罪に死に、義に生きる。

D. ヨハネの黙示録 2:10 あなたの受けようとする苦しみを恐れてはならない。見よ、悪魔が、あなたがたのうちのある者をためすために、獄に入れようとしている。あなたがたは十日の間、苦難にあうであろう。死に至るまで忠実であれ。そうすれば、いのちの冠を与えよう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4735 stephanos

死に至るまで忠実であれ。 → われ汝に生命の冠を与えん。

E. 詩篇 119:160 あなたのみ言葉の全体は真理です。あなたの正しいおきてのすべてはとこしえに絶えることはありません。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H5975 amad

あなたのみ言葉の全体は真理です → あなたの正しいおきてのすべてはとこしえに絶えることはありません。

(私個人の思いだが、善と悪はこの書の最初に名づけられたものであり、この節は、それらを名づけた言葉が初めから真実であり、その裁きは失効しないと語っている。神が創世記1章で善いと呼ばれたものは、今なお善いと呼ばれているのである。)

F. ヨハネの黙示録 2:7 耳のある者は、御霊が諸教会に言うことを聞くがよい。勝利を得る者には、神の paradisa にあるいのちの木の實を食べることをゆるそう。』

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3528 nikao ・ ■ G5315 phago ・ ■ G3586 xylon ・ ■ G2222 zoe ・ ■ G3857 paradeisos

勝を得る者には → 神の paradisa の中央にある生命の木の實を食べさせん。

G. ヨハネの黙示録 21:4 人の目から涙を全くぬぐいにとって下さる。もはや、死もなく、悲しみも、叫びも、痛みもない。先のものが、すでに過ぎ去ったからである。』

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2288 thanatos

もはや死はなく、悲しみもない——先のものはすでに過ぎ去った。

H. ヨハネの黙示録 21:7 勝利を得る者は、これらのものを受け継ぐであろう。わたしは彼の神となり、彼はわたしの子となる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3528 nikao

勝を得る者はこれらのものを受け継ぐべし。我はその神となり。

I. ヨハネの黙示録 22:1 御使はまた、水晶のように輝いているいのちの水の川をわたしに見せてくれた。この川は、神と小羊との御座から出て、(2) 都の大通りの中央を流れている。川の両側にはいのちの木があって、十二種の實を結び、その実はいち月みのり、その木の葉は諸国民をいやす。(3) のろわるべきものは、もはや何ひとつない。神と小羊との御座は都の中にあり、その僕たちは彼を礼拝し、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4215 potamos ・ ■ G2222 zoe ・ ■ G3586 xylon ・ ■ G2322 therapeia ・ ■ G1484 ethnos ・ ■ G2652 katanathema

水晶のように輝いているいのちの水の川 + いのちの木、諸国民をいやすための葉 → のろわれるものは、もはや何もない。

(私の個人的な思い——創世記のある木で閉ざされたものが、ここでは別の木において開かれている。そしてその違いは完全である。もはや呪いはない。この研究全体の到達点は、悪が単に管理されている場所ではない。それは、悪が最終的に、完全に取り除かれた場所である。)

J. ヨハネの黙示録 22:14 いのちの木にあずかる 特権 を与えられ、また 門をとおって 都にはいるために、自分の着物を洗う者たちは、さいわいである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3586 xylon

その命令を守る者は幸いである → 命の木への権利 + 門を通して都に入る。

K. 詩篇 23:6 わたしの 生きているかぎりは必ず 恵みといつくしみとが伴うでしょう。わたしはとこしえに 主の宮に住むでしょう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H2896 towb

恵みと憐れみは私に従う → 私は永遠に主の家に住む。

L. ヤコブの手紙 1:17 あらゆる 良い贈り物、あらゆる 完全な賜物は、上から、光の父から下って来る。父には、変化とか回転の影とかいうものはない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G18 agathos

すべての良い贈り物、また完全な賜物は、上から、光の父から来る。

(私の個人的な思い——この歩みは神ご自身の良いものから始まった——神はそれを見て良しとされた——そして終わりも同じである。すべての良い賜物は光の父から下って来る、変わることはない方から。良いことは初めから神のものであり、終わりなく神のものである。)

二人の口 — 悪を憎み、善を愛せよ

詩篇 97:10 主は悪を憎む者を愛し、その聖徒のいのちを守り、これを悪しき者の手から助け出される。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H157 ahab ・ ■ H8130 sane ・ ■ H7451 ra ・ ■ H8104 shamar

主を愛する者よ、悪を憎め。主はその聖徒たちの魂を保ちたもう。

ローマ人への手紙 12:9 愛には偽りがあってはならない。悪は憎み退け、善には親しみ結び、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G26 agape ・ ■ G505 anypokritos ・ ■ G655 apostygeo ・ ■ G4190 ponerous ・ ■ G2853 kollao ・ ■ G18 agathos

悪は憎み退け + 善には親しみ結び。

コリント人への第二の手紙 13:1 わたしは 今、三度目にあなたがたの所に行こうとしている。すべての事からは、ふたりか三人の証人の証言によって 確定する。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3144 martus

すべての事からは、ふたりか三人の証人の証言によって 確定する。

(私個人の思い——一つの詩篇と一つの書簡、旧い契約と新しい契約、そしてその間に響く一つの声。悪を憎み、善に堅く着け。二人または三人の証人の口によって、この言葉は疑いなく確立される。)

影と実現

Shadow 申命記 21:22 もし人が死にあたる罪を犯して殺され、あなたがそれを木の上にかける時は、(23) 翌朝までその死体を木の上に留めておいてはならない。必ずそれをその日のうちに埋めなければならない。木にかけられた者は神にのろわれた者だからである。あなたの神、主が嗣業として賜わる地を汚してはならない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H6086 ets ・ ■ H7045 qelalah

木にかけられた者は神に呪われた者=

Fulfillment ガラテヤ人への手紙 3:13 キリストは、わたしたちのためにのろいとなって、わたしたちを律法ののろいからあがない出して下さった。聖書に、「木にかけられる者は、すべてののろわれる」と書いてある。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G2671 katara ・ ■ G3586 xylon

キリストはわたしたちを贖い出された → わたしたちのためにのろいとなられた → 木にかけられる者はすべてののろわれたる者なり。

(私個人の思い——律法はその木を呪いの場所と名づけた。キリストはその木を避けなかった。彼はその木にかけられ、自ら呪いとなられた。それは、呪いがそこで終わり、これ以上広がることのないためであった。かつて裁きだけを意味していたその木は、彼にあって、いのちの木への入口となった。)

閉会

ヨハネの第一の手紙 2:17 世と世の欲とは過ぎ去る。しかし、神の御旨を行う者は、永遠にながらえる。

世は去りゆく → 神の御心を行う者は永遠に存する。

ローマ人への手紙 16:20 平和の神は、サタンをすみやかにあなたがたの足の下に踏み砕くであろう。どうか、わたしたちの主イエスの恵みが、あなたがたと共にあるように。

平和の神は、サタンをすみやかにあなたがたの足の下に踏み砕くであろう → どうか、わたしたちの主イエスの恵みが、あなたがたと共にあるように。

(私自身の思い——この歩みの全体を一行にまとめるなら。それは低いところから始まった。神ご自身の良きものが、悪がまだ名を持たぬ以前、創造の上に語られ、そして一つの心が、学び、問い、選ぶことを覚えていかねばならなかった。それは日々の歩みへと成長していった。悪を離れ、善を行い、それを続けること——ありふれた場所で、日々繰り返して。それは競走となり、戦いとなった。抵抗すべき本物の悪しき者、掲げるべき盾、そして悪に悪を重ねる代わりに善をもって悪に応えるという、はるかに難しい命令。そしてそれは、すべてのこのことも、歩むことも、走ることも、常に向かっていた場所で終わる——一本の木のもとで、それは開かれて立ち、もはや呪いはなく、勝利を得るすべての者に与えられる。この世とその悪は過ぎ去っていく。神のみ心を行うことの上に築かれたものは、それとともに過ぎ去ることはない。)

練習クイズ

1. 創世記1:31 — 神が造ったすべての物を見られたところ、それは、
 - a) 善と悪と一緒に
非常に良かった
 - b) 常に悪だけ
2. 詩篇34篇8節 — 主の恵みふかきことを味わい知れ、主に寄り頼む人は:
 - a) 慈悲深い
 - b) 良い
 - c) 忠実
3. 列王紀上 3:9 — それゆえ、聞きわけの心をしもべに与えて、あなたの民をさばかせ、わたしに
 - a) 心の思い
 - b) 善悪
 - c) 孤児と寡婦
4. ローマ人への手紙12:21 — 悪に負けてはいけない。かえって:
 - a) 悪をもって悪に報いない
悪をもって悪に勝つ
 - b) 悪を憎め
5. 創世記50:20 — あなたがたはわたしに対して悪をたくらんだが、神はそれを良きに変らせて、今日のよう
に:
 - a) 悪をもって悪に報いる
悪しき者の手から彼らを救い出すため
 - b) 多くの民の命を救おう
6. 第一ヨハネ2:14 — 若者たちよ。あなたがたに書きおくれたのは、あなたがたが強い者であり、神の言があなたがたに宿り、そして、あなたがたが:
 - a) 初めからおられる方を知っている
 - b) 悪しき者にうち勝った
 - c) 聖霊を受けた
7. 黙示録21:7 — 勝利を得る者は、これらのものを受け継ぐであろう。わたしは彼の神となり、そして:
 - a) 彼はわたしの子となる
 - b) わたしは彼の目からすべての涙をぬぐい去る
 - c) 彼は永遠に統治される

解答:1-b、2-b、3-b、4-b、5-c、6-b、7-a

このスタディの分岐

影がどのように光をもたらすか。律法において呪われたものとされた木(申命記21:22-23)は、キリストが掛けられたまさにその種の木であり、私たちのために呪いとなられた(ガラテヤ3:13)。そして、その向こう側には命の木が開かれて立っている(ヨハネの黙示録22:2)。

新しい契約がそれをどのように説き明かしているか。最初の木において命じられたこと——すべての木からは心のままに取って食べてよいが、一つだけは除く——それが、最後の木において、開かれた招きとなる。すなわち、勝利を得る者には、命の木の実を食べさせようというのである(創世記2:16-17 → 黙示録2:7)。

言葉がいかに重要か: アガソス(G18、良い)とカロス(G2570、良い)は、それ自体において良いものと、示されたときに良いものを名づけ、カコス(G2556、悪い)とポネロス(G4190、悪い)は、無価値なものと、害を及ぼすことに傾いた意志を持つものを名づける — どの言葉がどの節にあるか、そしてその理由を確認せよ。

→ あなたへの適用: すべての事を試し、善い物を堅く守りなさい(テサロニケ人への前の書 5:21)。悪を離れて、善を行いなさい(詩篇34:14)。感覚は、望みによってではなく、修練によって鍛えられる(ヘブル人への書 5:14)。

これが永遠にとって意味することは、一つの木で失われたものが、もう一つの木で再び与えられるということである — 勝を得る者には、我いのちの木の実を食ふことを許さん (ヨハネの黙示録2:7)、また、のろひは重ねてなかるべし (ヨハネの黙示録22:3)。

兎道: ヨセフは御子の予型であり、悪意によって売られた兄弟でありながら、神によって命を救うために遣わされた者である(創世記45:5-8、使徒行伝7:9-10)——彼に対して企てられた悪を、神がいかに善に変えられたかをたどってみよ。

→ 考えられる啓示: カーシャブ(H2803、思う、企てる)は創世記50章20節の両側で使われているまさに同じ言葉である——兄弟たちが企てたことも、神が企てたことも。[複数の節をつなぎ合わせたもの——これ単独で述べている一節はない] 一つの意志によって計画された同じ悪が、より大いなる意志によって覆されたのであり、どちらの側の意図も否定されることはなかった。

救われるためには何をしなければならないか

「救われるためには何をすべきか」という私たちの聖書研究をご覧ください

SOURCES & CREDITS

Scripture: Kougo (Colloquial) (Public Domain (1955 口語訳聖書 — Japan Bible Society's own copyright page confirms the copyright protection period has ended; see registry/JAPANESE_LEGAL_PATH.md. Moral/integrity rights are preserved under Japanese law, so the text is rendered verbatim only, never altered -- pipeline.VERBATIM_LANGS.)) — a redistributable edition, looked up exactly and never machine-translated.

Alternate chapter/verse numbering reconciled with STEP Bible TVTMS (CC BY 4.0).

Strong's numbering & original-language data: OpenScriptures Hebrew Bible (CC BY 4.0); STEP Bible.org — TAHOT/TAGNT/TBESH/TBESG (CC BY 4.0); Robinson-Pierpont Byzantine Majority Text (Public Domain); Strong's dictionary, 1890 (Public Domain).

Typography: Google Noto fonts (SIL Open Font License 1.1).

© SEE MORE JESUS • wanttoseemore.com — shared under Creative Commons Attribution 4.0 (CC BY 4.0).